

発刊にあたって



沖縄県警察本部
交通部長 當銘健徳

沖縄県内における飲酒絡みの交通事故は、全国平均を上回る高水準で推移しながらも、平成9年以降、年々減少傾向が続いていましたが、昨年は、県民の懸命な取組みの甲斐もなく、飲酒絡みの人身事故、死亡事故とも前年より増加し、今後の推移が懸念される状況にあります。

県内の飲酒絡みの交通事故構成率を全国と比較しますと、昨年未現在、人身事故は平成2年から19年連続、死亡事故は平成7年から14年連続でワースト1であり、また、飲酒運転で検挙される者の人口千人当たりの比率も、全国平均の四・四倍と際だって多い状況にあります。

Contents

飲酒運転事故で娘の命を奪われた母の思い	3
酒酔い運転事故で友人を亡くして	4
飲酒運転事故の代償と課題	5
「飲酒運転は犯罪です」弟を亡くした姉の思い	6
加害者を許すことの出来なかった44年間の苦悩	7
飲酒運転事故を起こした加害者の家族として	9
飲酒運転は絶対にしないで下さい	10
二度目の刑務所生活で想うこと	11
飲酒運転は犯罪です	12
最後の刑務所生活にしたい	13
「運転するなら一口も飲まない」との強い意志を持つ	14
飲酒運転で死亡事故を起こした大きな代償	15
飲酒運転の結末は刑務所生活	16
飲酒運転による死亡事故を起こして	17
同じ過ちをしないために	18